

産総研NPFご利用の3形態

“機器利用”：利用者ご自身で装置を操作

“技術補助”：NPF技術スタッフのサポートの下、利用者が装置を操作

“技術代行”：NPF技術スタッフが、利用者の代わりに装置を操作

ARIM事業利用報告書提出とデータ提供

産総研NPFは、文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ事業 (Advanced Research Infrastructure for Materials and Nanotechnology in Japan (ARIM) 事業) に参画し、利用報告書、研究・実験データの提供・利活用を推進します。

参考：<https://nanonet.mext.go.jp/>



産総研NPFの利用料金

ARIM 利用報告書、データ提供と利用料金との関係

	データ提供 有	データ提供 無
利用報告書有	¥	¥¥
利用報告書無	¥¥¥	¥¥¥¥

安価 ¥⇔¥¥⇔¥¥¥⇔¥¥¥¥ 高価

利用報告書は、機器の利用内容の記載をお願いいたします(研究成果の記載は任意です)。

利用料金について

<https://www.tia-kyoyo.jp/page/page000042.html>



NPFご利用の流れ

（“機器利用”、“技術補助”、“技術代行”）



<https://www.tia-kyoyo.jp/npf/>
からスタート

利用前の事務手続き**“利用者登録”**

----- NPF利用希望者の登録

利用前技術相談

----- ログインして“利用前相談・課題申請”から申請・相談

利用申込----- “課題申請”：マイページから申請。“利用申込書”の提出
注意：利用メンバーは全て“利用者登録”が必要
審査後、“共用施設等利用回答書”の発行により利用開始が可能
◆ ARIMデータ提供準備*1**NPFのご利用前の準備****安全ガイダンス受講**----- オンサイトのみ。
技術代行の方で装置・薬品に触れない場合は、安全ガイダンスの受講は不要**装置操作の“トレーニング”**----- “機器利用”の場合、“トレーニング”から申請。
ユーザ固有のサンプル・条件が必要な場合、“技術補助”から申請。
“技術代行”の場合、“トレーニング”は不要。**NPFのご利用****“機器利用”・“技術補助”・“技術代行”**----- NPFシステムから予約・依頼
◆ ARIMデータ提供*2**精算・(利用報告書)提出**

----- ◆ ARIM利用報告書*3

◆ ARIM 利用報告書、データ提供のある方は、下記対応をお願いします：

*1 ARIMデータ提供準備（データ提供いただく方のみ）：データプラットフォーム（DICE）のアカウント登録願います。

*2 ARIMデータ提供（データ提供いただく方のみ）：RDEシステムから加工プロセス・実験データをご提供ください。

*3 ARIM利用報告書（報告書の提出いただく方）：利用報告書を提出ください（研究成果の記載は任意）。

トレーニング受講・留意点

ナノプロセッシング施設 (Nano-Processing Facility; NPF) ご利用の検討誠にありがとうございます。当施設の装置をご自身で運転・操作していただくには、当施設担当者による実機での“トレーニング”と呼ぶ装置運転講習の受講が必要です。ご自身で操作・利用したい機器の“トレーニング”受講申請は、NPFシステムから行うことができます。

1. トレーニングの実施には、事前にNPFが実施する安全ガイダンスの受講が必要です。ガイダンス受講後、日程調整を開始します。

※特段の理由により、安全ガイダンス直後のトレーニングや多数の装置を短期間に受講したいなどの希望がある場合には、事前に理由を添えて事務局にご相談ください。

2. 多くの方の希望が集中することが頻発します。余裕をもったトレーニング希望日程、一回の最大トレーニング申請装置数制限などを通して、できるだけ多くの方のトレーニングが迅速に行えるよう日程調整に努めています。

3. ご自身の持ち込みサンプル・条件でのトレーニングも可能です。(利用形態を“技術補助”とします。)

4. 特段の理由により、安全ガイダンス直後のトレーニングや多数の装置を短期間に受講したいなどの希望がある場合には、事前に理由を添えて事務局にご相談ください。

ご相談・ご質問は、事務局・トレーニング調整担当

tia-npf-ml@aist.go.jp

までお願いします。